

I 専門分野の成長戦略

観光分野

観光分野の取り組みの概要

① 産業振興計画のこれまでの取り組みによる成果と課題

第1期計画では、大河ドラマ「龍馬伝」の放送を追い風に「土佐・龍馬であい博」を開催し、当時過去最高となる435万人観光を達成するとともに、引き続き「龍馬ふるさと博」を開催することで、大河ドラマ後の反動減を押しとどめました。2つの博覧会の取り組みにより、県内各地での体験型観光プログラムや周遊ルートづくりに弾みがつき、旅行商品化や本県の知名度アップに向けたセールス・プロモーション活動を通じて、旅行会社による商品販売が進むという一連のノウハウが培われ、今日まで受け継がれています。

第2期計画では、「つくる」「売る」「もてなす」の戦略を明確にし、「つくる」では、地域の核となる観光拠点整備や、土佐の観光創生塾による旅行商品づくりを進めるとともに、「売る」では、高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」によるセールス活動、「もてなす」では、龍馬パスポートの仕組みによる周遊促進とリピーター化に取り組みました。加えて、3度の地域博覧会を通じて、地域主体の観光地づくりが進み、広域観光組織に引き継がれたことで400万人観光を定着することができました。

第3期計画では、大河ドラマ放送時の賑わいを定着させるため、435万人観光の定常化を目標に掲げました。2年連続で開催した「幕末維新博」では、歴史観光の基盤を整え、歴史を中心とした観光クラスターづくりを進め、440万人観光を2年連続で実現できました。さらに、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」では、本県の強みの一つである、自然や体験資源を磨き上げ、より魅力的な自然体験型の観光基盤を県内全域に整えてきました。

課題としては、県外観光客入込数は右肩上がりの傾向で推移しているものの、観光総消費額は目標をやや下回っていること、クルーズ客船の寄港により外国人観光客の入込が定着する一方、宿泊を伴う外国人観光客数の伸びは足踏み状態にあり、第4期計画により課題解決に挑戦します。

② 次期計画の取り組み

国内外の観光客に評価される観光地域づくりに向けて、以下の5つの戦略の柱の下、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」2ndシーズンを通じて、自然体験型の観光基盤を整え、中山間対策とインバウンド対策に直結させることで、第4期計画の目標である観光総消費額1,288億円と460万人観光の実現を目指します。

一つ目の戦略の柱「戦略的な観光地域づくり」では、広域エリアを越えた面単位の滞在型観光も見据えて、県全域に「歴史」「食」「自然」の観光基盤を広域単位で連動させる滞在型観光クラスターを形成し、中山間地域への国内外の観光客のさらなる誘客と滞在時間の延長、観光消費の拡大を目指します。このため、観光地域づくりの舵取り役となる広域観光組織に専任スタッフを配置して、「外貨を稼ぐ」観光地域づくりをマネジメントできる専門人材として育成し、広域観光組織の体制及び機能強化を図ります。

二つ目の戦略の柱「効果的なセールス&プロモーション」では、「あなたの、新休日。」という新たなコンセプトの下、「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」2ndシーズンを展開し、高知ならではの山、川、海の旅の楽しみ方などを動画配信やWeb広告等を活用した訴求力のあるプロモーションを行います。また、足摺海洋館「SATOUMI」の整備をはじめとする新たな観光資源を活用した集客イベントの開催や旅行商品の造成を図るセールス活動を展開します。

三つ目の戦略の柱「おもてなしの推進」では、バリアフリー観光のさらなる推進のため、観光施設などのバリア情報とバリアフリー情報の提供や周遊プランの提案ができるバリアフリー観光の相談窓口を設置します。また、観光客の周遊滞在のための観光クラスター情報をプッシュ型で提供するなどの観光案内所におけるコンシェルジュ機能を強化するとともに、観光客の満足度をさらに高める受入環境の整備を進めます。

四つ目の戦略の柱「国際観光の推進」では、台湾・香港・シンガポール・タイ・アメリカ・オーストラリア・中国・韓国の重点8市場に配置した海外セールス拠点や日本在住の外国人専門家を活用し、外国人に訴求力の高い旅行商品づくりに継続して取り組むとともに、デジタル技術を活用した訪日外国人向けのプロモーションを抜本強化します。また、四国ツーリズム創造機構を中心に四国4県が連携した四国周遊商品の造成や国際チャーター便の誘致拡大などの四国を周遊する旅行商品づくりを一層進めます。さらに、これまで国内外においてネットワークを拡大し、日本を代表する祭りに成長した「よさこい」を活用した海外プロモーションの展開により、よさこい発祥の地高知と観光地高知の飛躍的な認知度向上に取り組みます。

五つ目の戦略の柱「事業者の強化と観光人材の育成」では、「土佐の観光創生塾」を通じた地域の観光事業者の育成や広域の観光地域づくりをマネジメントできる人材の育成をはじめ、専門の相談体制の設置や、研修会等の開催を通じた国内外の観光客におもてなしができる人材や観光ガイド団体の育成を引き続き図るとともに、地域の観光事業者の4定条件の確保や事業継続をサポートする仕組みの構築などにより、観光産業を支える事業者の強化にも取り組みます。